

美浜区打瀬地区 区民対話会

◆日時：平成26年7月20日（日）

午前9時30分～11時

◆場所：幕張ベイタウン地域連携センター

【テーマ】

地域の将来像と担い手

～持続可能な地域コミュニティの構築～

地域コミュニティとは

日ごろの生活や活動を通じて作られていく、
地域の住民や団体どうしのつながりや
顔見知りの関係



自分たちの住んでいる地域を、
みんなの力で自主的によくしていく

地域コミュニティの必要性

環境の変化

- 少子高齢化＋単身世帯の増加、子どもの安全、防災防犯
⇒「地域」で支えていく必要のある世帯の増加
- 東日本大震災
⇒日頃からの身近な人同士の交流の大切さの再認識



地域コミュニティの必要性は以前よりも高まっている

地域コミュニティの現状

身近なところで増加する社会問題

- 高齢者の所在不明問題
(消えた高齢者)
- 高齢者の孤立死 年間1万5千人
- 認知症行方不明者 年間1万人
- 児童・高齢者虐待・・・

地域活動の低下

- 町内会、自治会の加入率低下
- 新住民、若い世代等の地域活動への参加が低調
- 「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」といった自助・共助機能の低下

地域コミュニティの力が弱まっている

地域の住民同士のつながりが希薄化 ⇒ 無縁社会

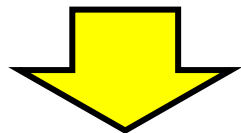
地域コミュニティの力はなぜ弱まったか

考えられる理由

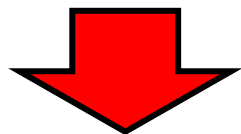
- 少子高齢化、人口減少
- コミュニティ活動のきっかけとなる子どもの減少
- 価値観やライフスタイルの多様化
- 地域への愛着・帰属意識の低下
- 昼間に地域にいないことによるかかわりの希薄化
-
-
-
-

このままいくと...

- 特定の人だけが地域活動を行う
- 地域団体の役員のなり手がいない
- 役員の高齢化、固定化⇒負担が集中



- 役員の高齢化、少数化によるさらなる活動低下
- 役員が培ったノウハウが継承されない



地域コミュニティの継続が困難

今はよくても将来はない...

地域の目指す将来像を考えてみましょう

例えば...

世代を超えたつながりと幅広い連携により地域活動が充実するまち



- 高齢単身者と地域がつながる機会の増加、拡大
- 子育て世代、若い世代の地域活動への参加の拡大
- ボランティアや大学等と連携する地域活動、団体の増加

もう少し具体的に、理想の地域生活を想像してみましょう

例えば...

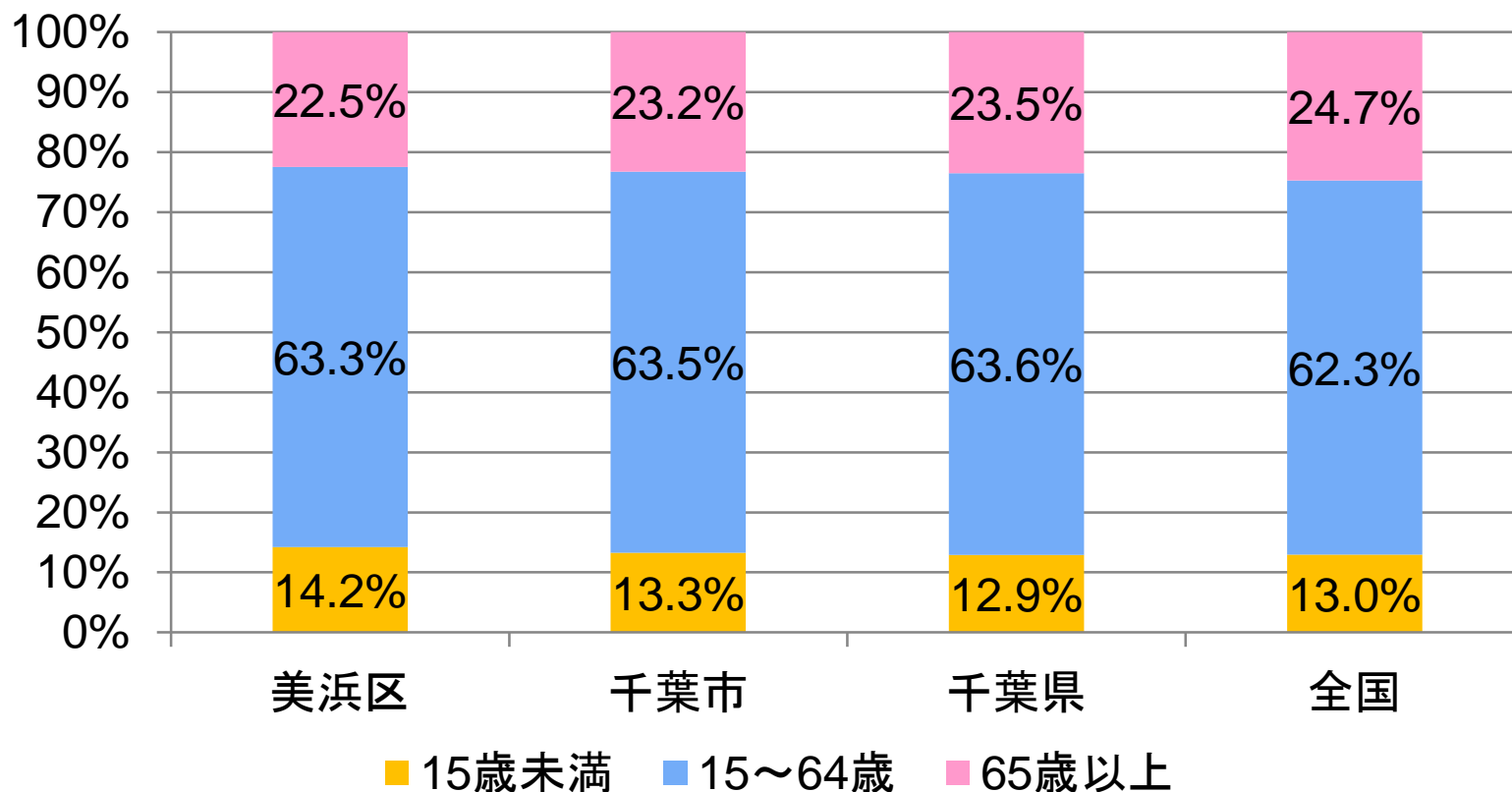
- どこでもいつでも「挨拶」がある
- 誰でも参加できる楽しいイベントがある
- まちの美化などみんなが活動する
- 災害時などのもしもの備えがある
- 安心の見守りや支え合いがある

→本日の意見交換で、みなさんの考えをお聞かせください

打瀬地区の現状

美浜区の年齢別人口構成比

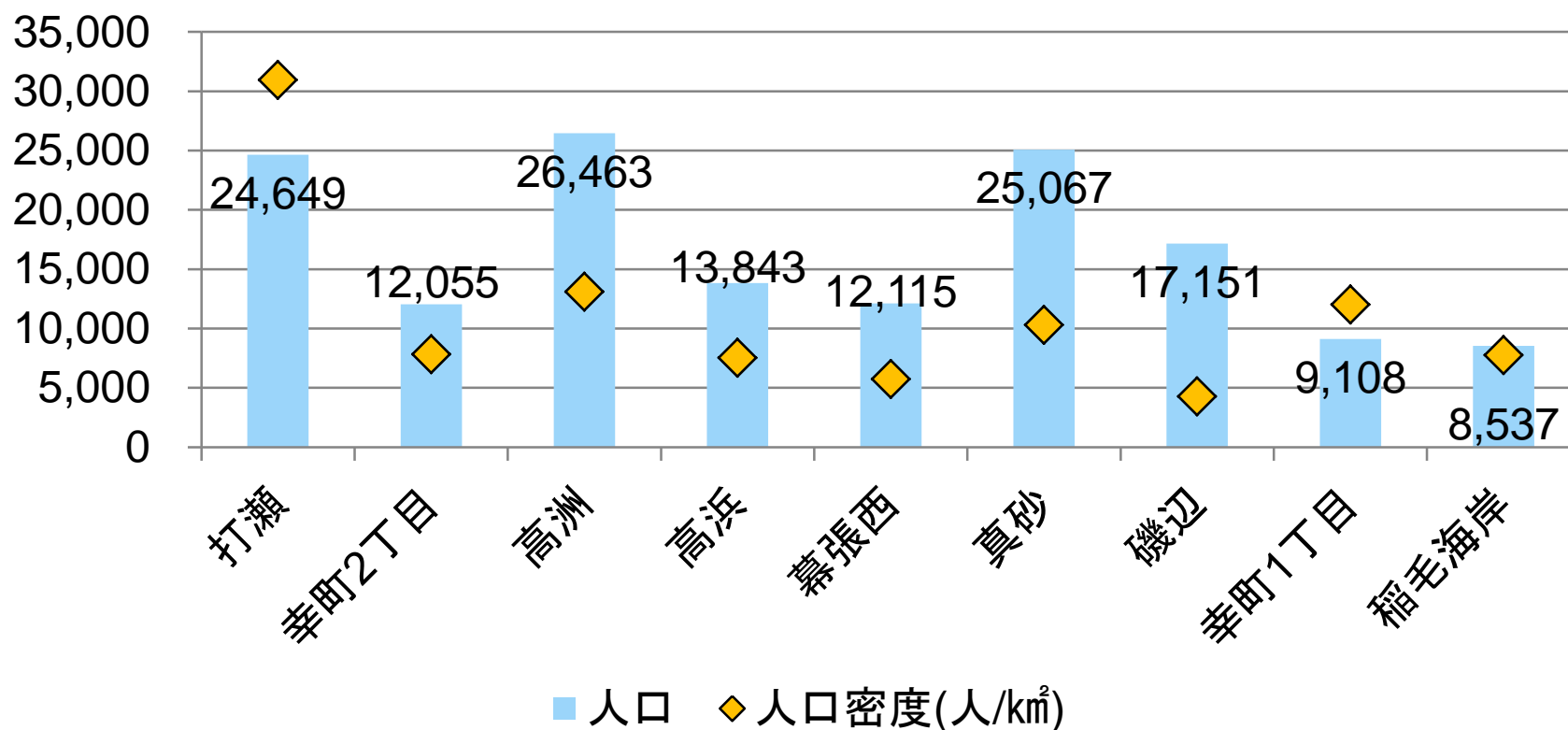
■ 市、県、全国と比較し、高齢化率は低く、子供の比率は高い



出典：平成26年6月末町丁別年齢別人口（千葉市統計課）
平成26年1月1日住民基本台帳に基づく人口（総務省統計局）

打瀬地区の人口・人口密度

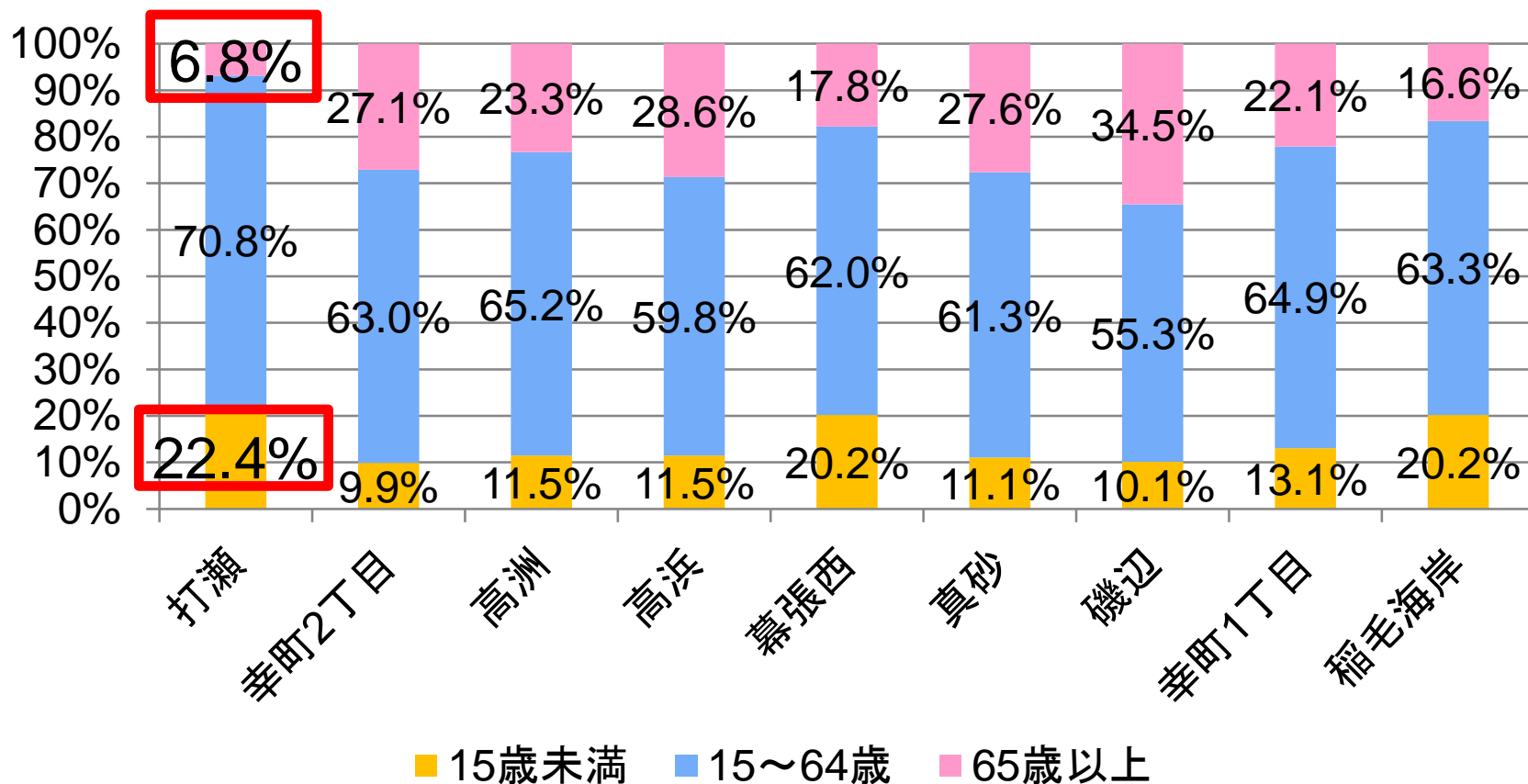
- 人口は、区内9地区中3番目に多い
- 人口密度が著しく高い



出典：平成26年6月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

打瀬地区の年齢別人口構成比

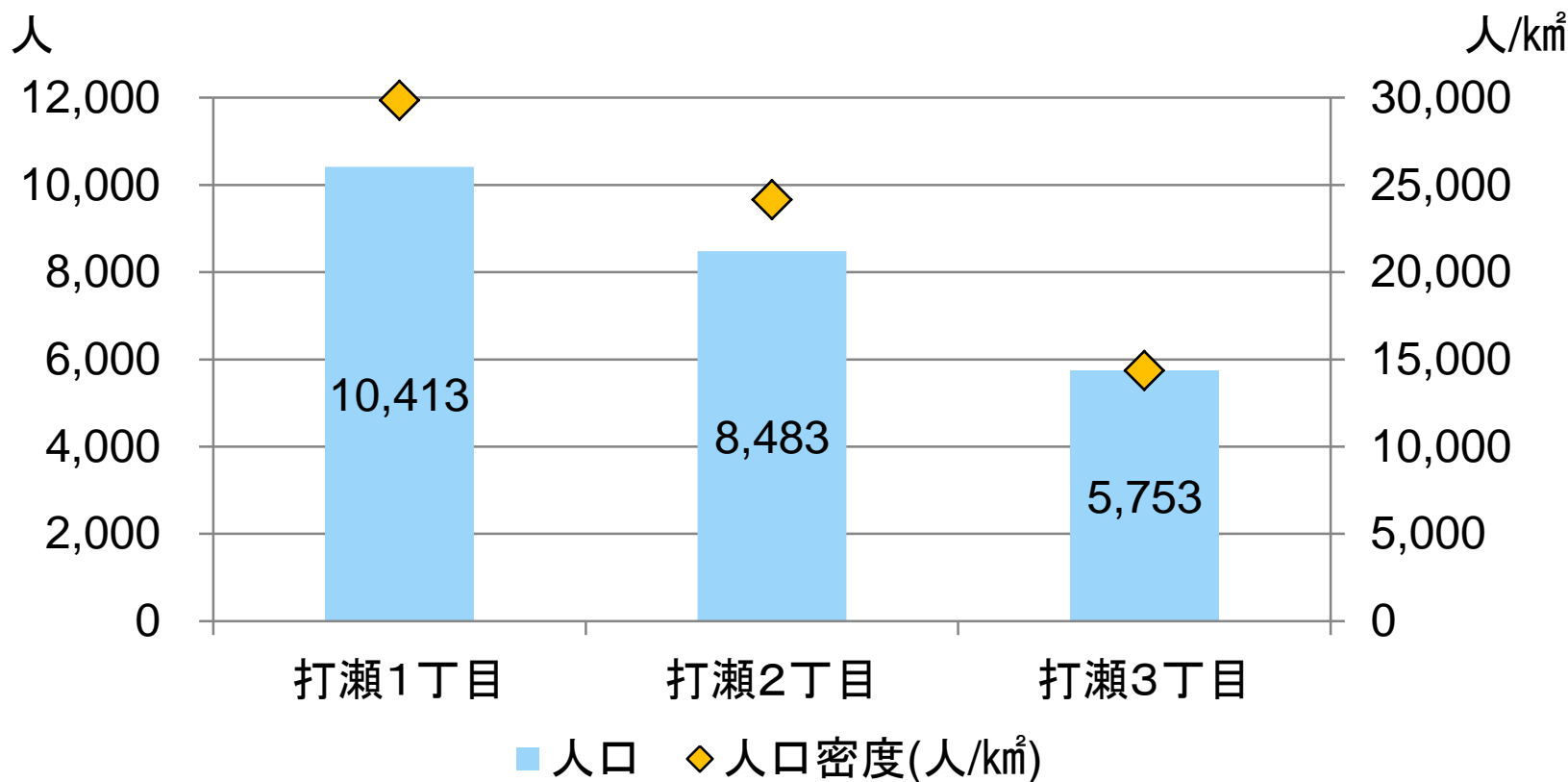
■ 高齢化率は非常に低く、子供比率は非常に高い



出典：平成26年6月末町丁別年齢別人口（千葉市統計課）

打瀬1~3丁目の人口・人口密度

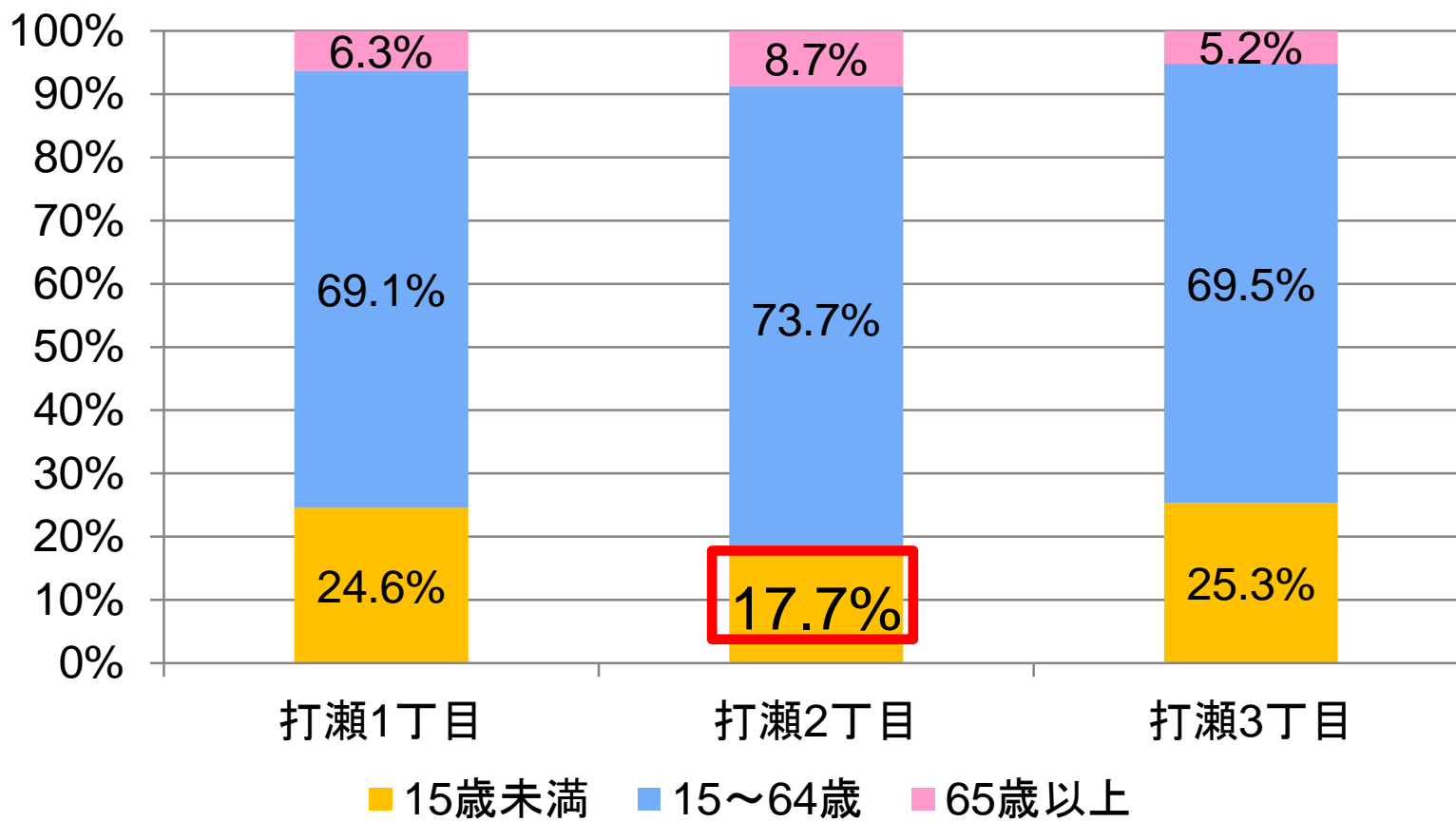
■ 人口・人口密度とも 1丁目>2丁目>3丁目



出典: 平成26年6月末町丁別年齢別人口(千葉市統計課)

打瀬1～3丁目の年齢別人口構成比

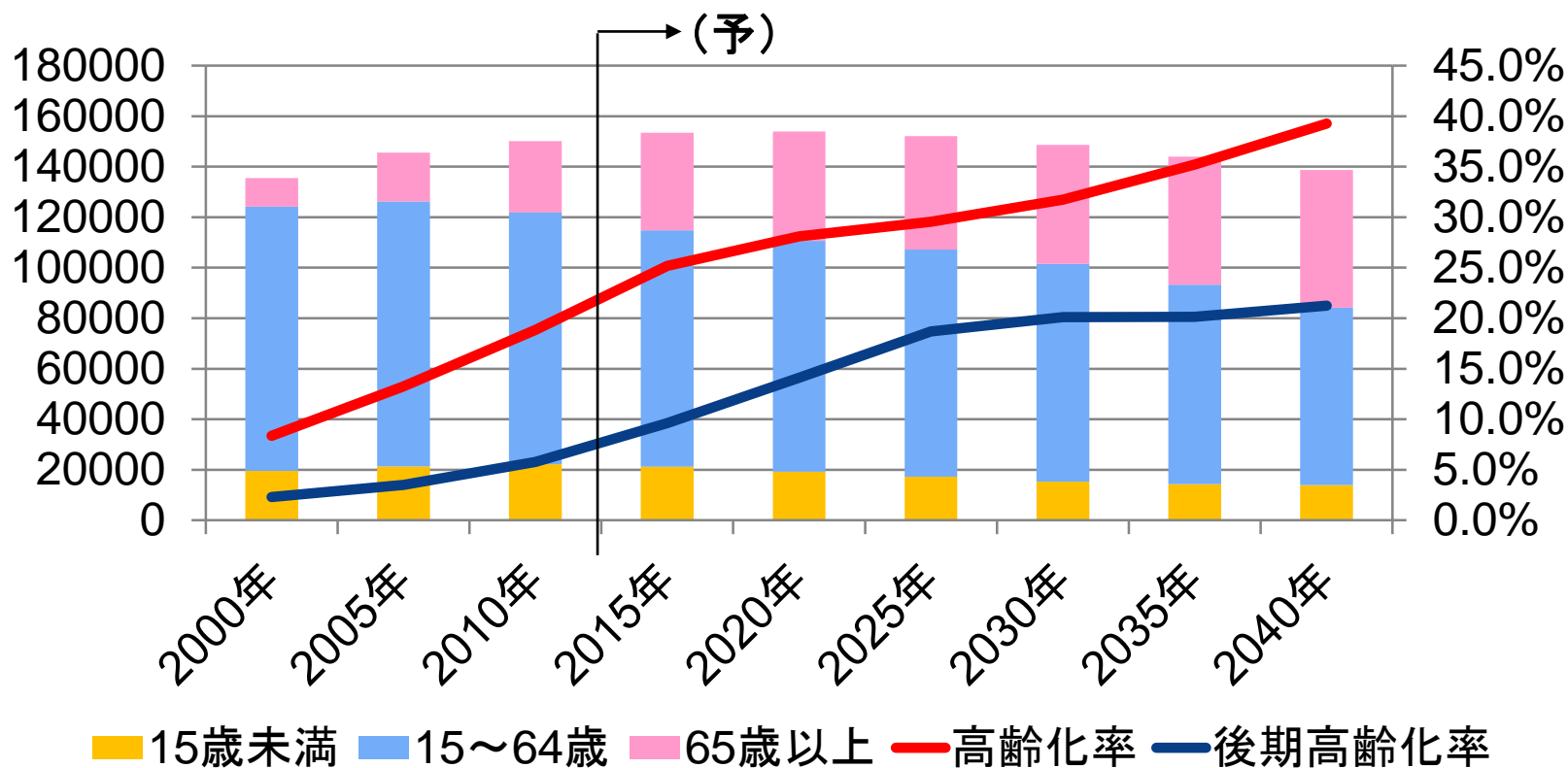
■ 2丁目は子供比率が低く、高齢化率がやや高い



出典：平成26年6月末町丁別年齢別人口（千葉市統計課）

美浜区の将来推計人口・年齢別人口構成

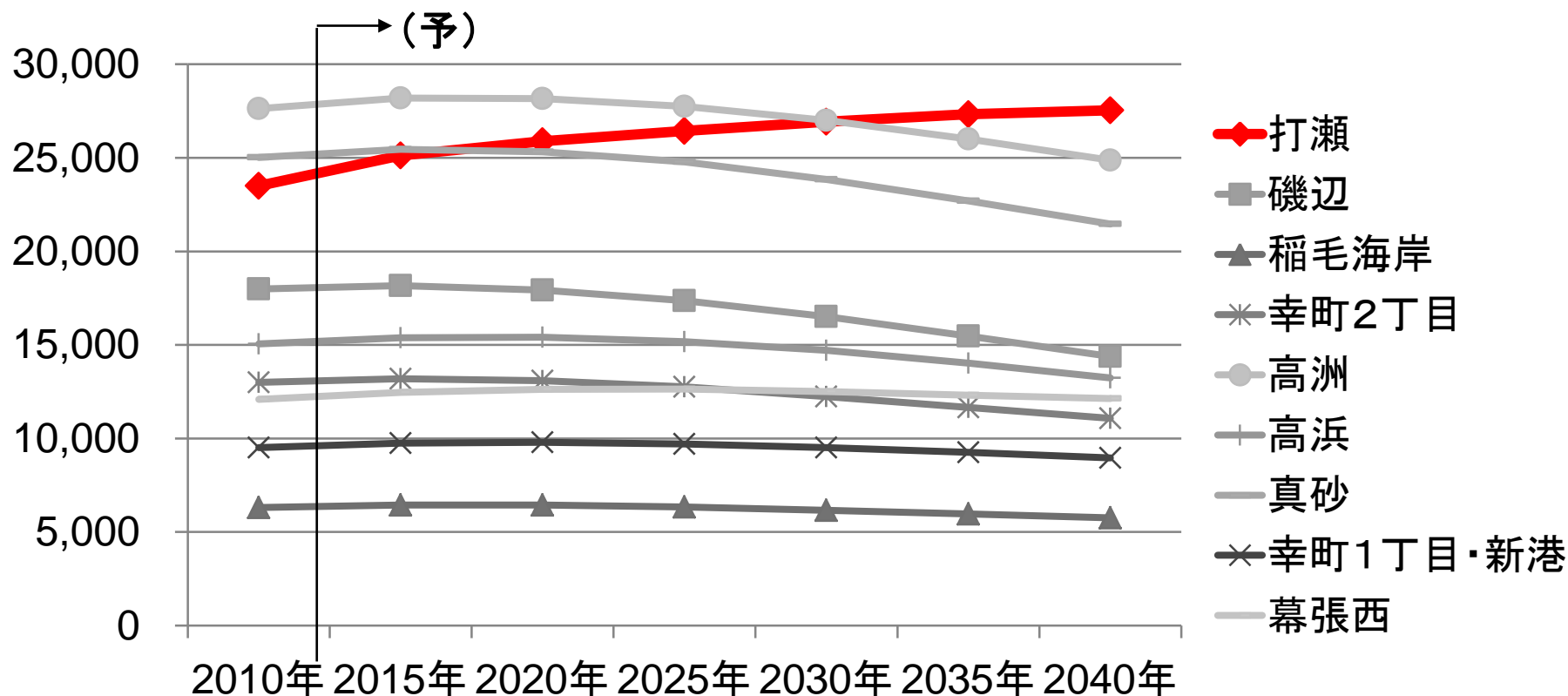
- 区の人口は2020年をピークに減少
- 高齢化率は2010年の18.9%から2040年には39.3%



出典：平成12年、17年、22年国勢調査
将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

打瀬地区の将来推計人口

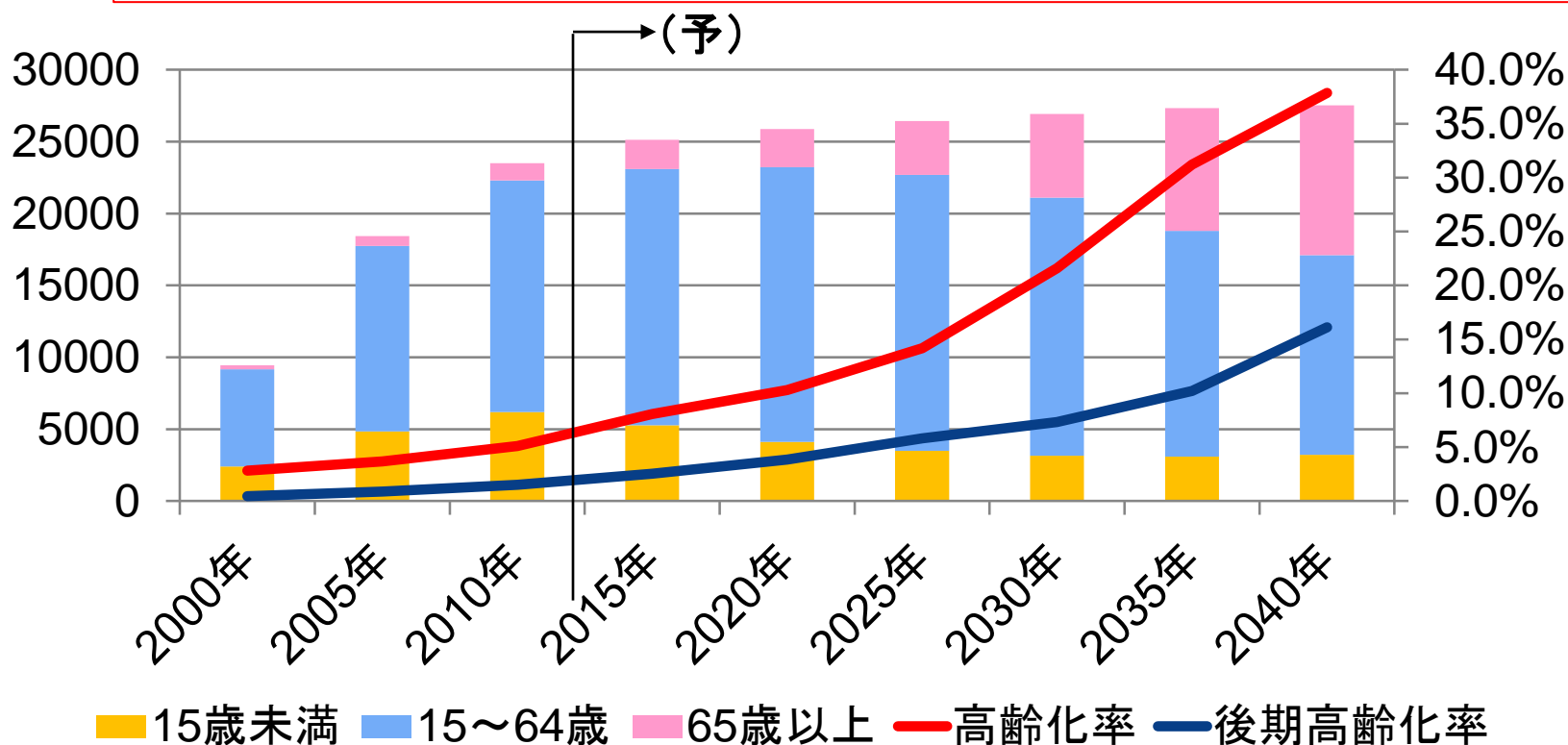
■ 打瀬地区の人口は2040年まで増加を続ける
(ただし、増加率は一貫して低下)



出典：平成12年、17年、22年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

打瀬地区の将来推計人口・年齢別人口構成

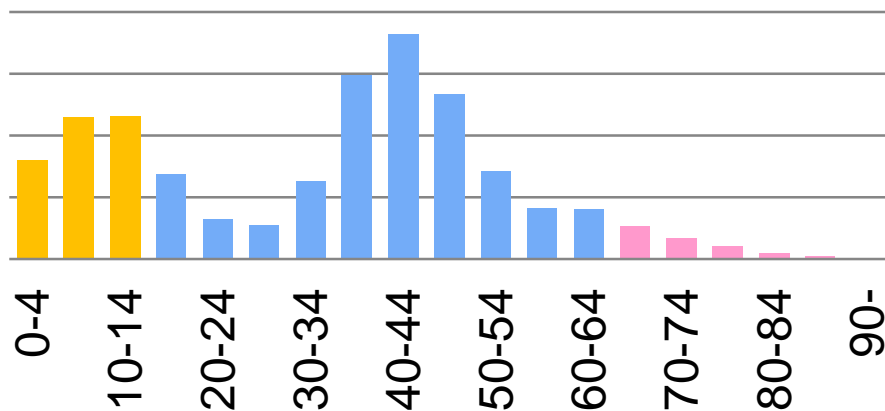
- 打瀬地区の高齢化率は、2010年の5.1%から2040年には37.9%
- 後期高齢者(75歳以上)の占める割合は2040年に16.1%に増加



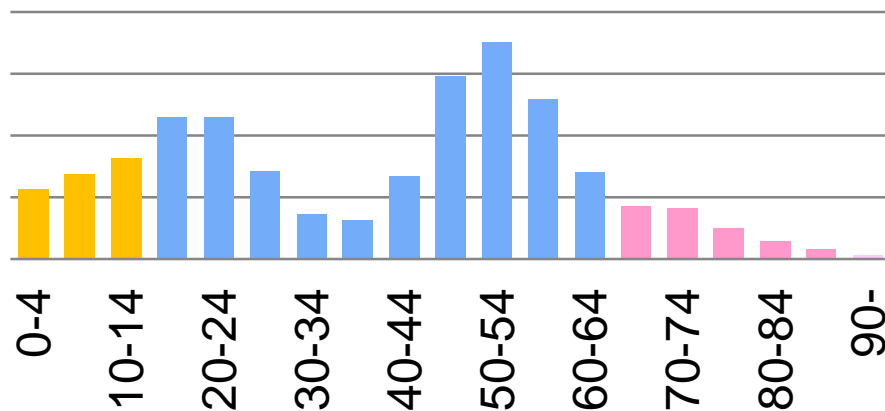
出典：平成12年、17年、22年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

打瀬地区の年齢別人口構成推計

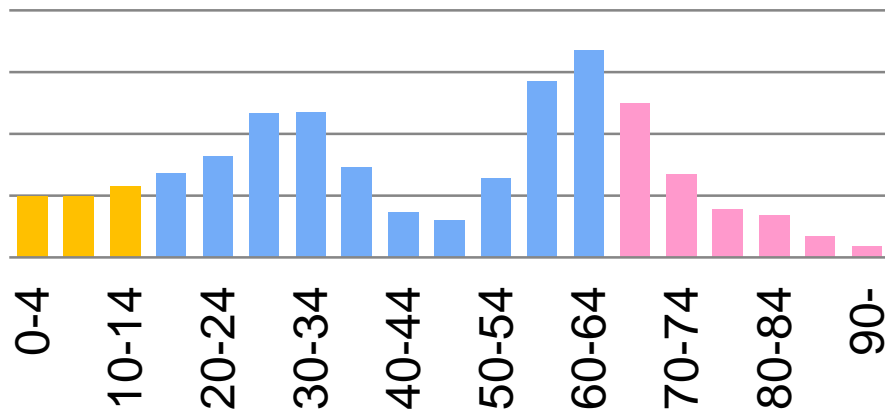
2010年



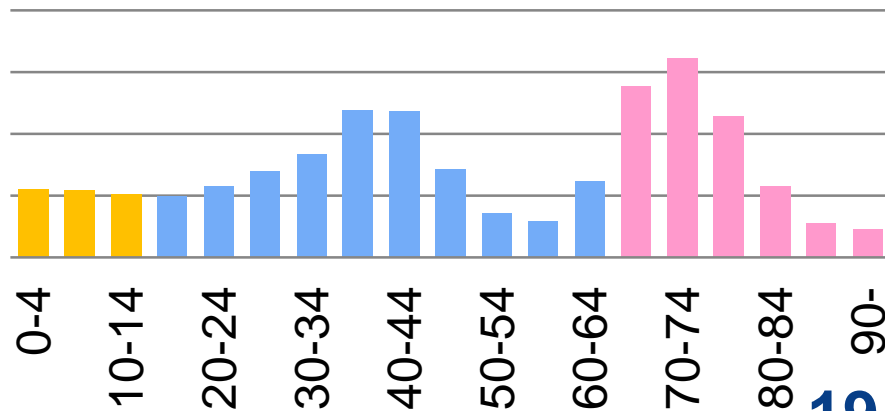
2020年



2030年

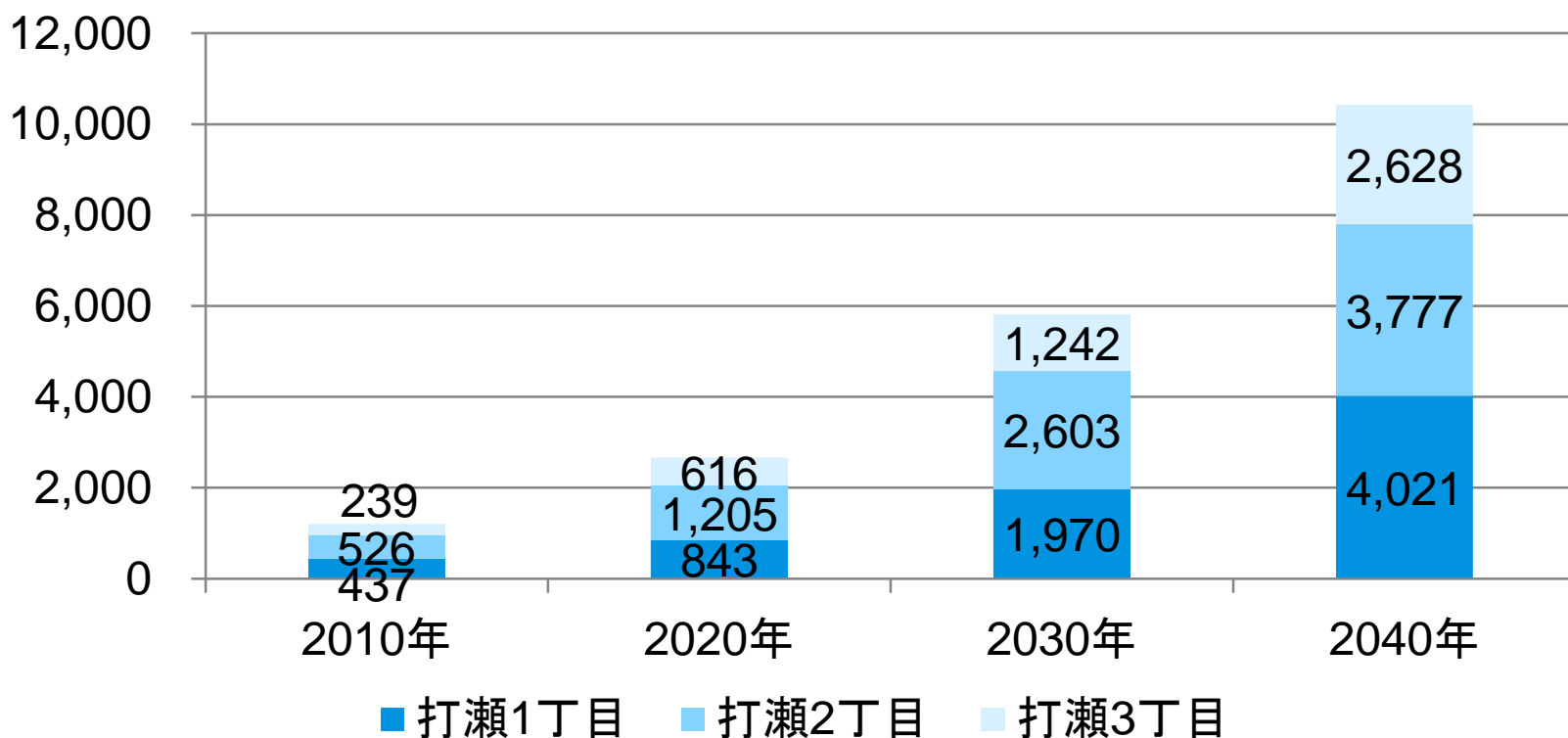


2040年



打瀬1～3丁目の高齢者数推計

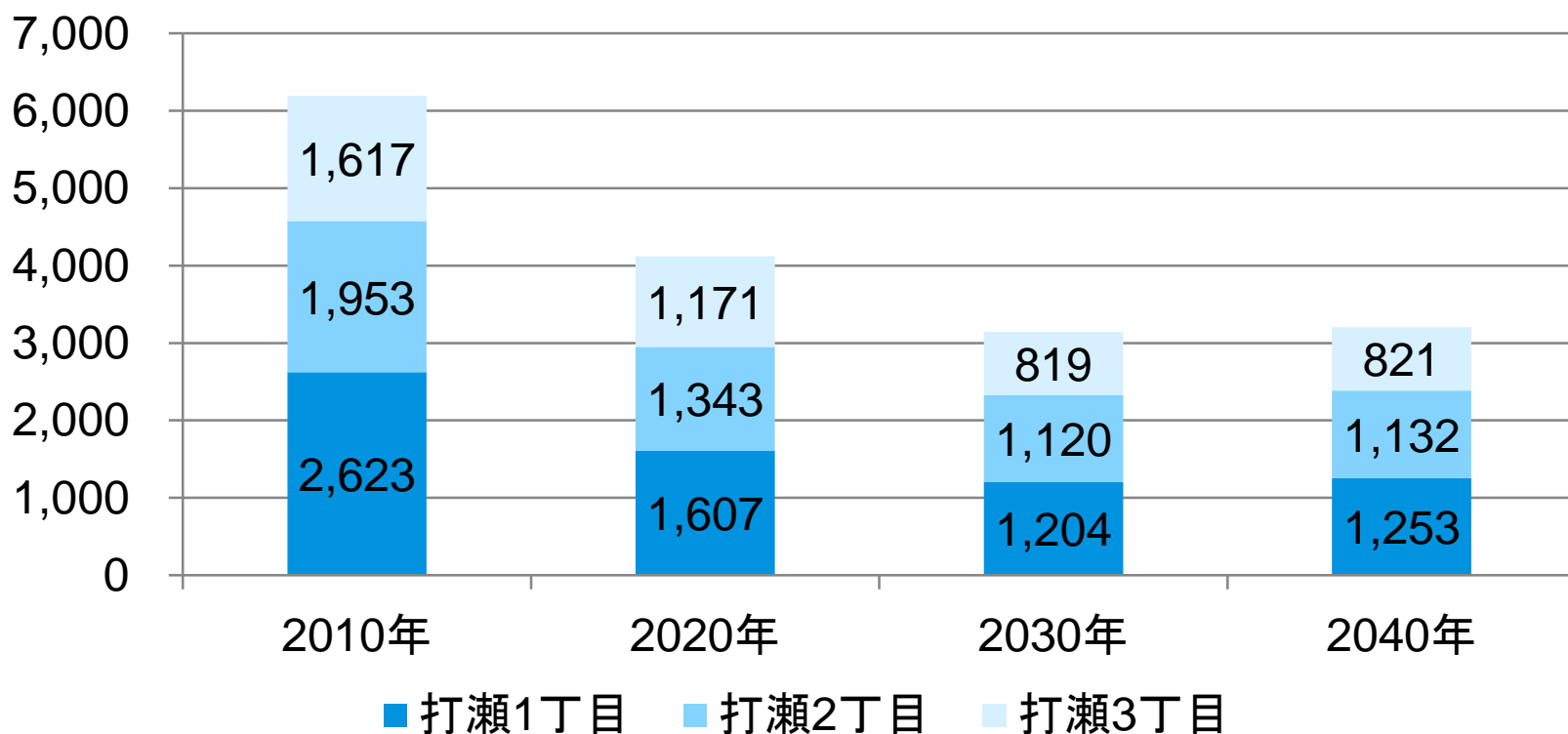
- 高齢者数は急増
- 2010年から2040年にかけて、すべての丁目において7～11倍に



出典：平成22年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

打瀬1～3丁目の子供数推計

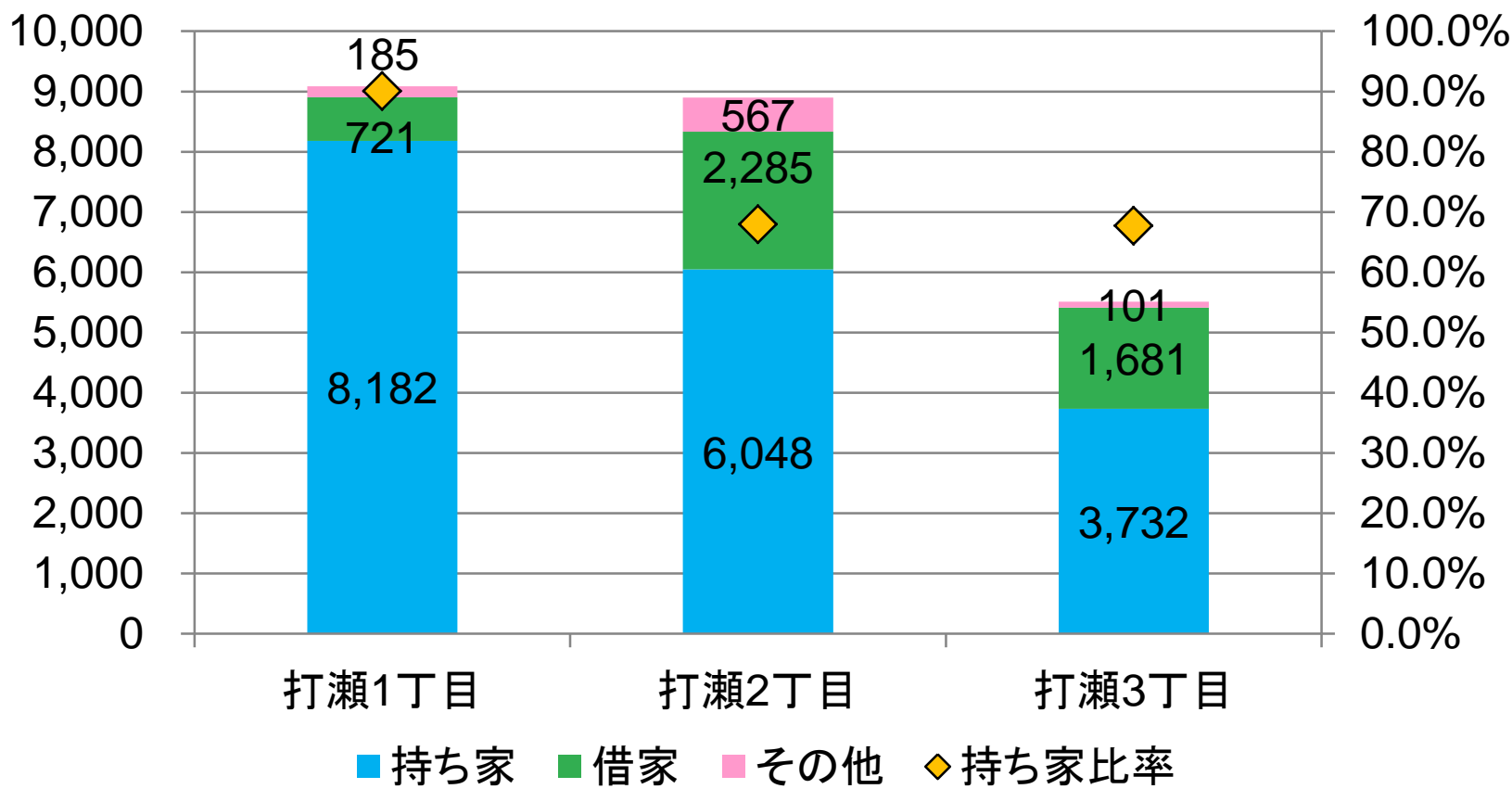
- 子供の数(15歳未満)は、2030年にかけて一貫して減少
- 特に、2010年から2020年にかけて打瀬地区で▲33%の急減



出典：平成22年国勢調査
町丁別将来推計人口(美浜区地域振興課)

打瀬1～3丁目の住宅所有状況

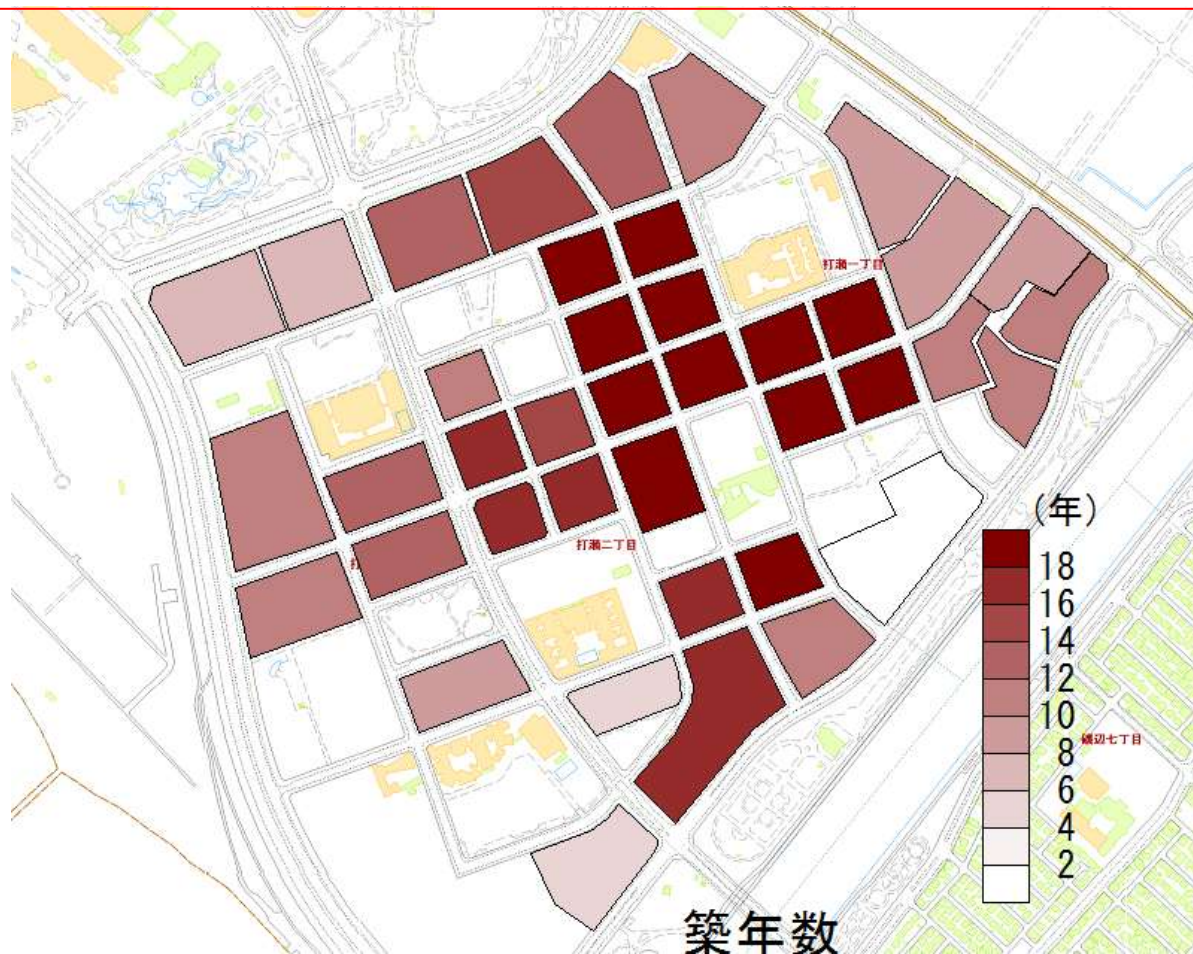
■ 持ち家比率は、打瀬1丁目が90%、打瀬2丁目・3丁目は70%弱



出典：平成22年国勢調査

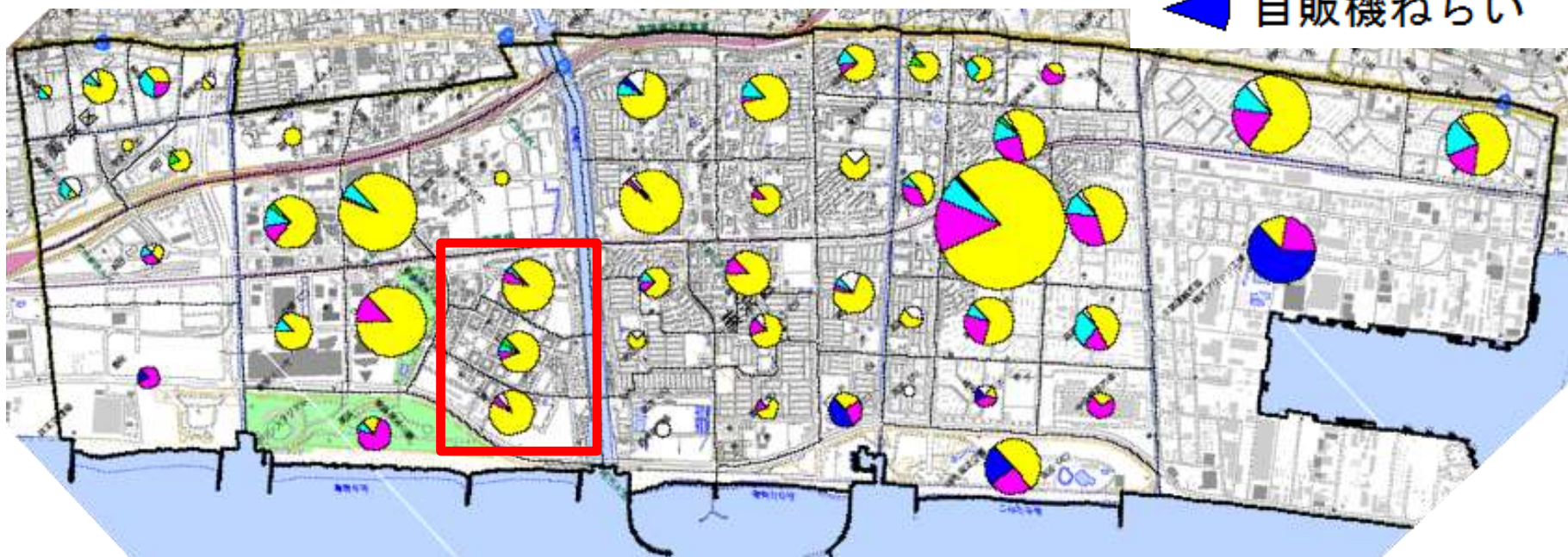
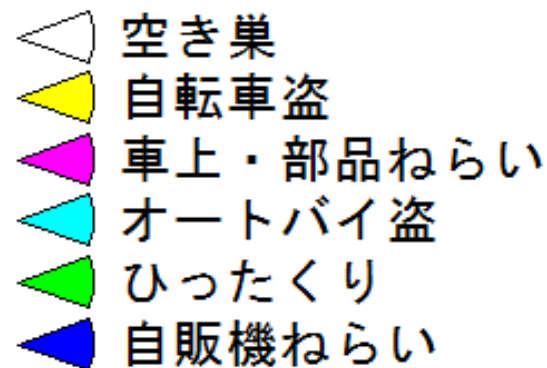
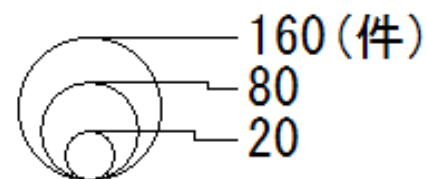
共同住宅築年数

- 最初の共同住宅は平成7年築(現在、築19年)
- 築年数の経過により、住宅の維持管理にかかる費用や住民の重要な意思決定は増加すると推測される



街頭犯罪発生状況

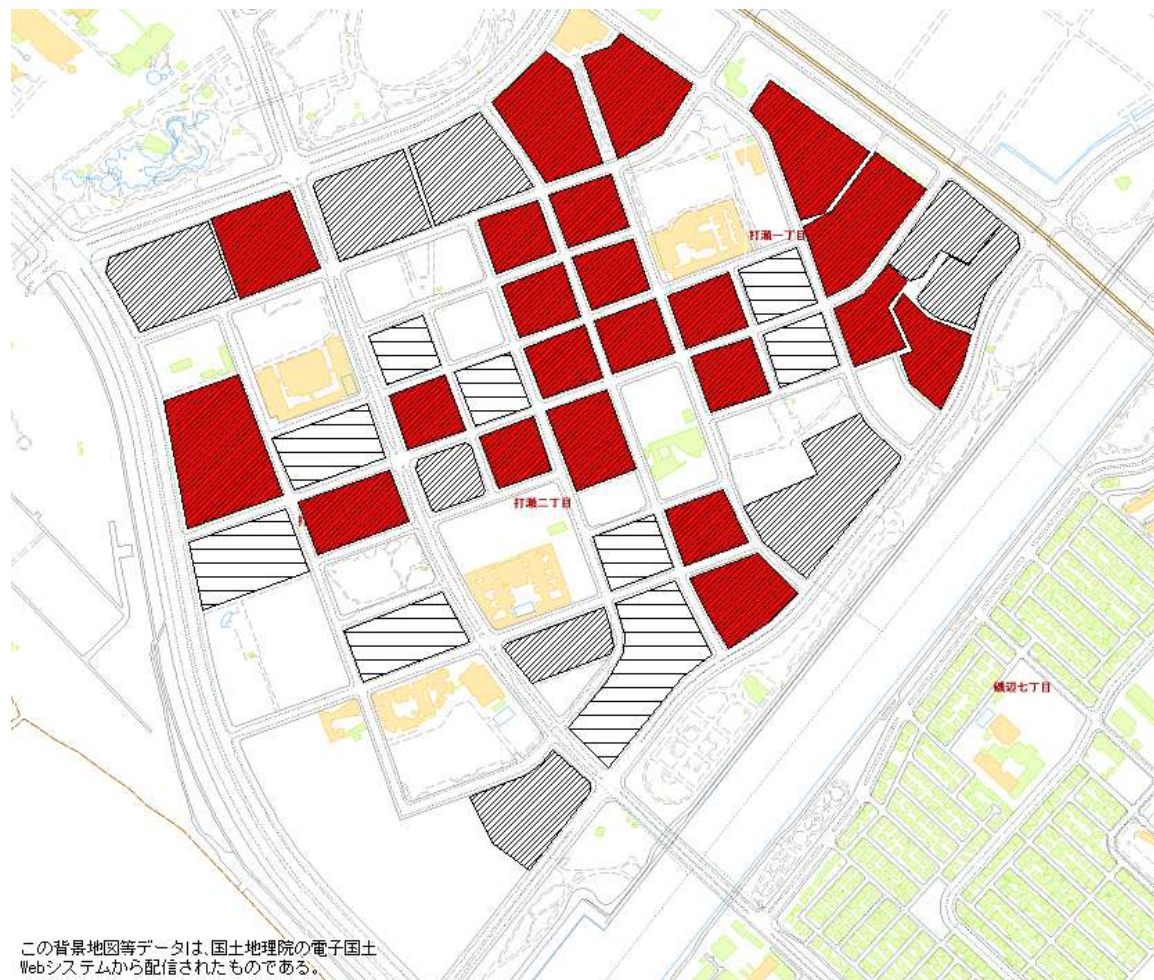
- 打瀬地区では、自転車盗が最も多く、重点街頭犯罪全体の約85%を占める
- 乗り物に関する犯罪以外では、打瀬2丁目でひったくりが1件、打瀬3丁目で空き巣が1件発生



出典：平成25年町丁別重点街頭犯罪発生件数(千葉西警察署)

自治会結成状況

- 分譲共同住宅の7割に自治会あり
- 賃貸共同住宅はすべてなし



■ 結成済(分譲)

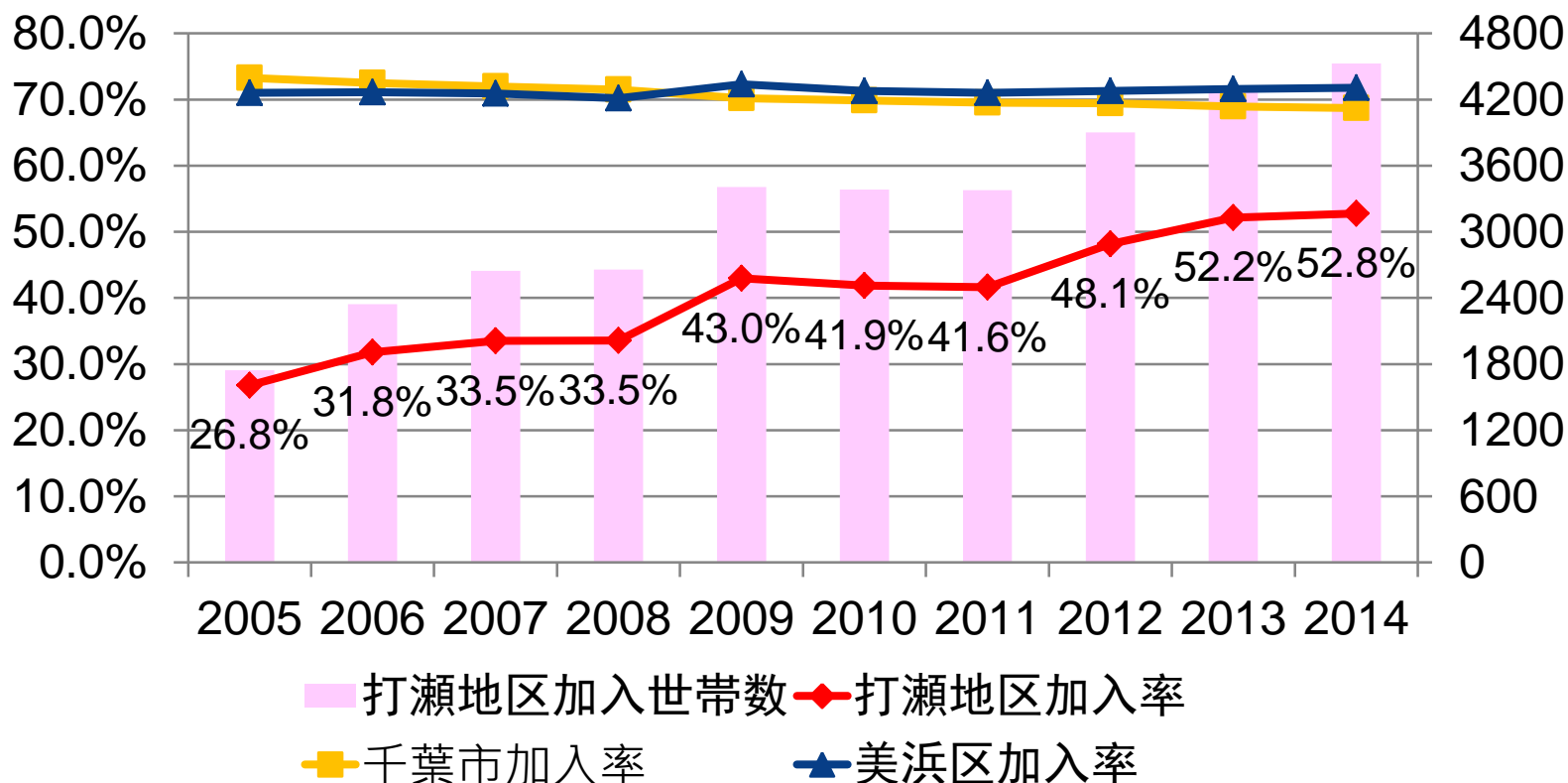
▨ 未結成(分譲)

▨ 未結成(賃貸)

※この資料では、自治会は地区連協加入団体に限っています。

自治会加入世帯率

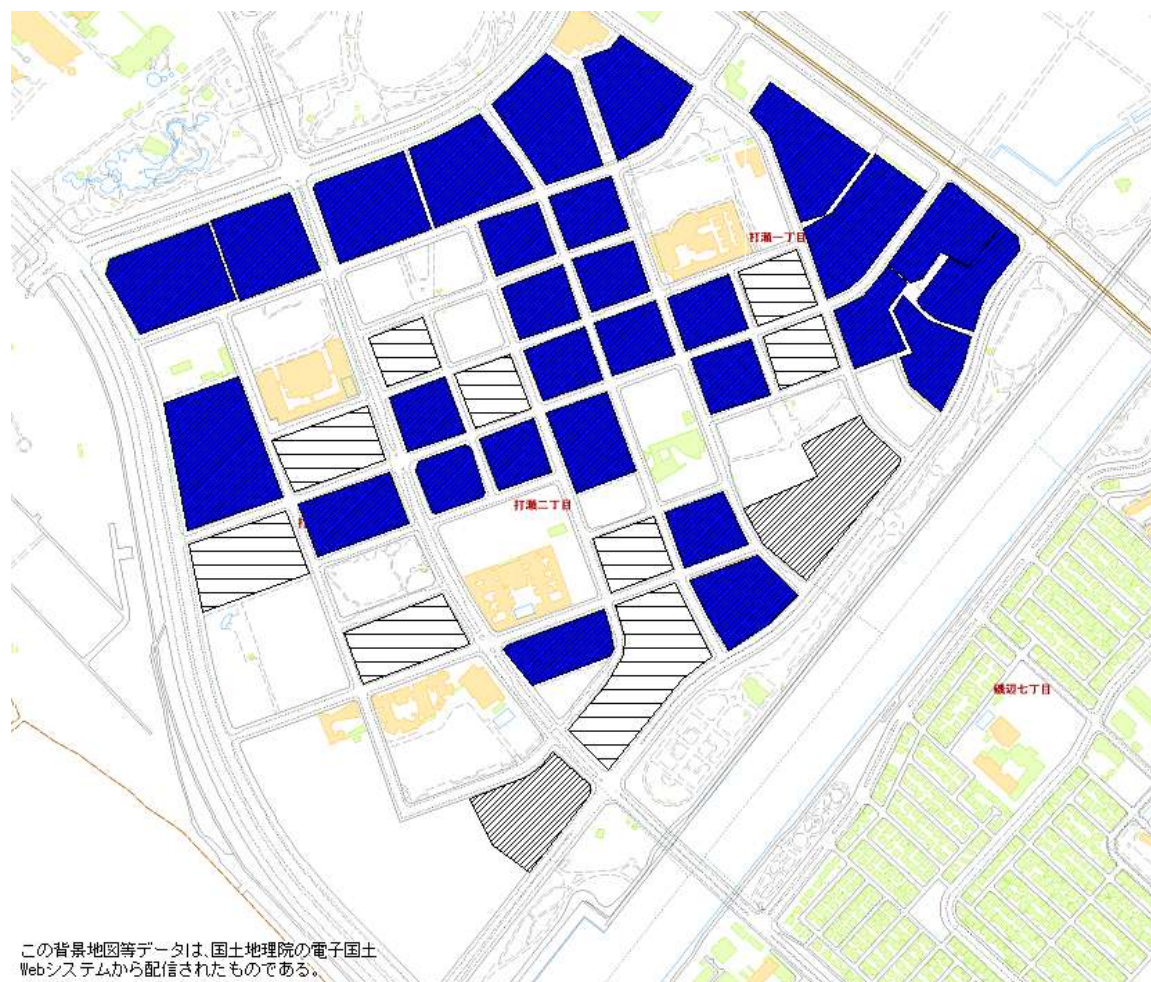
■ 打瀬地区の自治会加入世帯率は増加傾向



出典：平成17～25年度町内自治会のしおり(千葉市町内自治会連絡協議会)
町丁別人口及び世帯数(千葉市統計課)

自主防災組織結成状況

- 分譲共同住宅の9割超に自主防災組織あり
- 賃貸共同住宅はすべてなし



この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

打瀬地区の地域団体役員数

※美浜区が役員数を把握している5団体のみを掲載しています。

地域団体	役員数	うち 兼務者数
地区町内自治会連絡協議会	20	3
青少年育成委員会	98	11
スポーツ振興会	20	13
民生委員児童委員協議会	18	10
社会福祉協議会地区部会	40	15

兼務状況

- ・兼務者数 24人
- ・兼務者1人あたり兼務数 2.17
- ・最大兼務数 4

出典：5団体役員調査（美浜区地域振興課 H26.3実施）

ベイトウン住民アンケート調査

■ 実施時期 平成24年8月

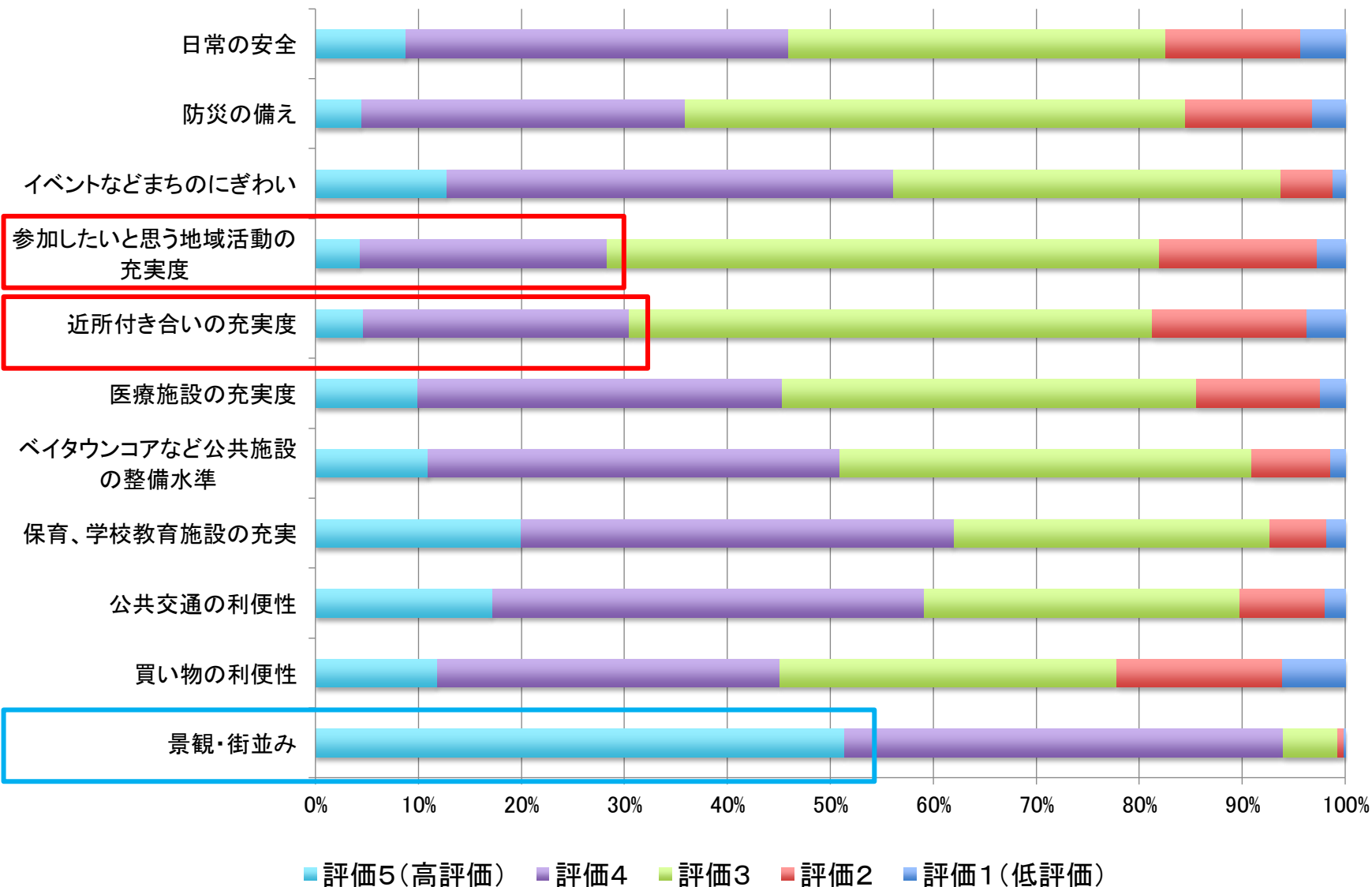
■ 対象及び回答数

ベイトウン全住戸 8,431 回答回収数 2,150 回収率 25.5%

■ 設問内容

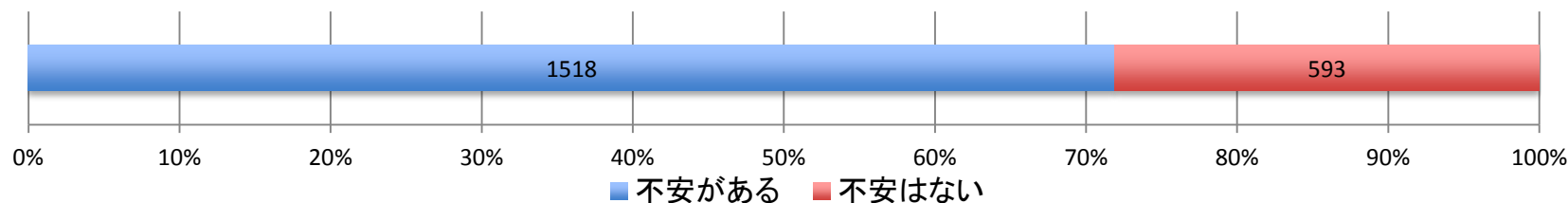
- 属性調査(街区、住戸の階層、家族構成、年代、性別)
- まちの評価について
- 防災・防犯について
- こども・学校について
- 商店街について
- まちの情報について
- 地域活動について
- 住まいについて

1. まちの評価について



2. 防災について

■防災について、日頃から不安に感じていることは？



■不安がある方についてその理由

8 水道等インフラ破損時の水・食料品等の調達

7 防災備蓄の備え(所在、必要量等)

6 建物等破損の連絡

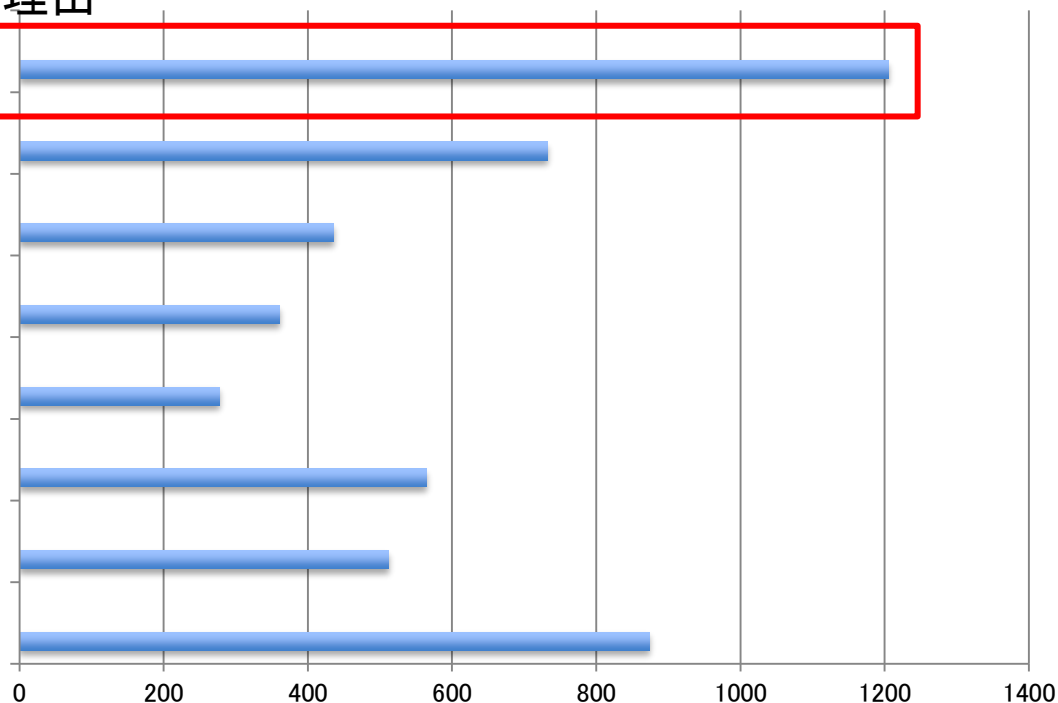
5 けが人等救助の手配

4 近隣の高齢の方等の安否確認

3 近隣同士の助け合いの体制

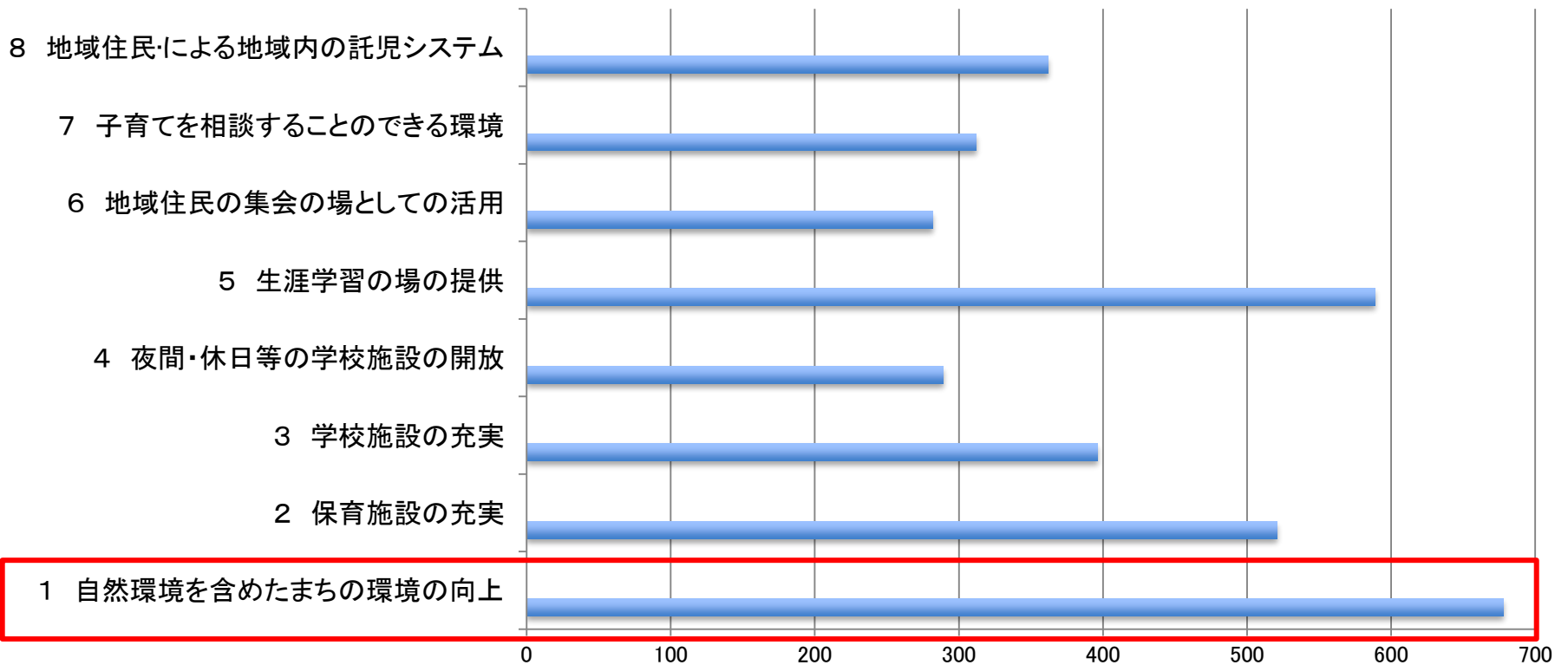
2 家族同士での避難先の連絡

1 家族の安否確認

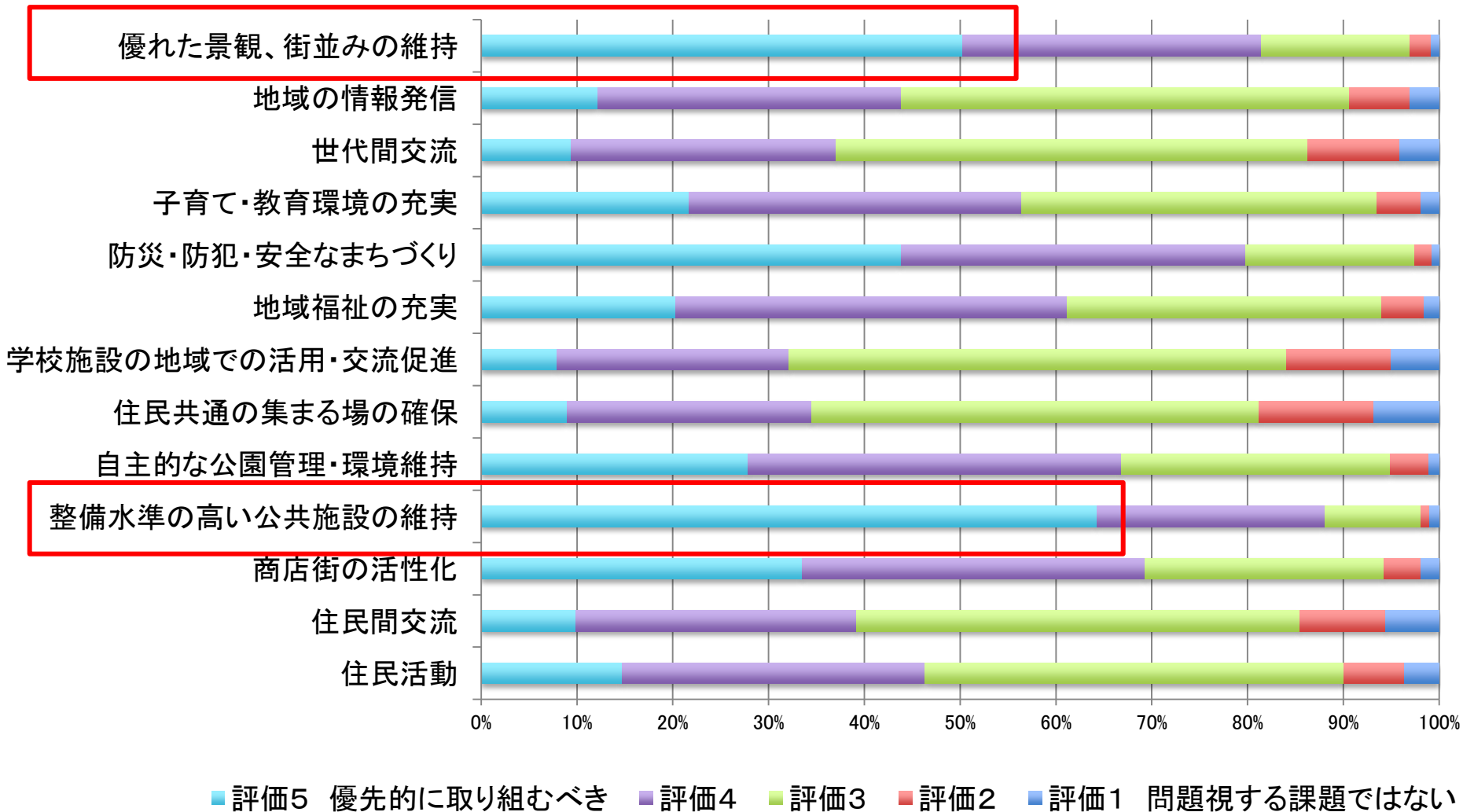


3. こどもと学校について

■ 今後、さらに充実した子育て・学校教育環境とするためにはどのようなことが必要か。



4. ベイタウンの取り組むべき課題の評価



打瀬地区の課題

- 急速な高齢化・少子化への対応
- 賃貸住宅居住者の地域のつながり
- 地域活動・近所付き合いの充実
- 子供が接する自然環境の整備
- 公共施設・景観の維持